

第56号議案 令和6年度長崎市一般会計補正予算（第1号）

目次	ページ
1 学力向上推進費	2 ～ 3
2 【補助】小学校整備事業費 大規模改造	4 ～ 8
3 【単独】小学校整備事業費 諸工事	9 ～ 14
4 【補助】中学校整備事業費 学びの多様化学校開設	15 ～ 18
5 教育ICT推進費	19 ～ 20

教育委員会

令和6年6月

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
24～25	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-1	学力向上推進費	200 千円

1 事業概要

長崎県が行う「令和6年度 学校文化創出モデル校事業」を活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指す「令和の日本型学校教育」の土台となる環境づくりとして「これまでの学校教育の当たり前」を見直した新しい学校文化を創出することで、児童生徒の学力向上に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 事業費 200千円(講師謝礼金、旅費、消耗品費、郵送料)

(2) 実施期間 令和6年度から令和8年度まで

(3) 実施校 北陽小学校

(4) 令和6年度の取り組み

先進校視察や先行研究の調査をもとに、「協働」をテーマに、1人1台端末を活用した協働的な学習活動や、地域や保護者と協働した新しい教育課程の創造などに取り組む。

3 財源内訳

	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金 ※1	地方債	その他※2	一般財源
補正前の額	千円 15,495	千円 —	千円 1,040	千円 —	千円 1,347	千円 13,108
補正額	千円 200	千円 —	千円 200	千円 —	千円 —	千円 —
補正後の額	千円 15,695	千円 —	千円 1,240	千円 —	千円 1,347	千円 13,108

※1 長崎県教育委員会公募制研究指定校事業委託金（1,040千円）
学校文化創出モデル校事業委託金（200千円）

※2 教育基金繰入金（1,317千円）、保険料個人負担金（30千円）

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
26~27	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】小学校整備事業費 大規模改造	千円 52,600
合 計						千円 52,600

1 事業概要

国の補正予算に伴う学校施設環境改善交付金を活用して、エレベータ設置工事を行い、バリアフリー化により教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資する。

2 補正する理由

国の補正予算に伴う学校施設環境改善交付金を活用して実施するエレベータ設置工事について、令和6年2月議会において補正予算を議決いただき、西北小学校、畝刈小学校、小島中学校の3校において、令和6年度中の完成及び稼働開始を予定している。

しかしながら、西北小学校については、令和5年度に実施した実施設計業務の工期が延長となり、国庫補助に係る計画の提出時期に実施設計が完了しなかったことから、過去のエレベータ設置工事等の実績額などから工事費を算出していたが、当該予算額について、完了後の実施設計における積算額と乖離が生じたことや、当初予定していなかった工事が必要となることが判明したため、不足分の事業費について補正予算を計上するもの。

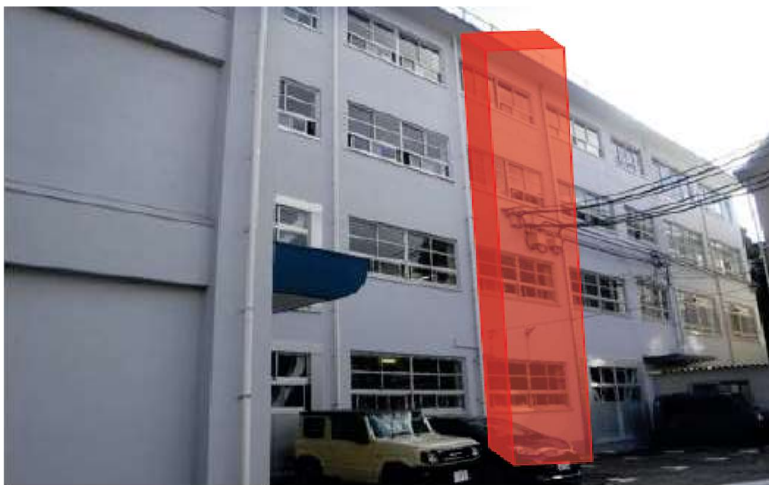
3 事業内容

(1) 西北小学校エレベーター設置ほか工事(エレベーター設置、暗渠付け替え)

ア 建築年月:昭和39年3月(60年経過)

イ 工期:約8.5か月

エレベーター設置場所(現状・平面図)



暗渠付け替え場所(平面図)



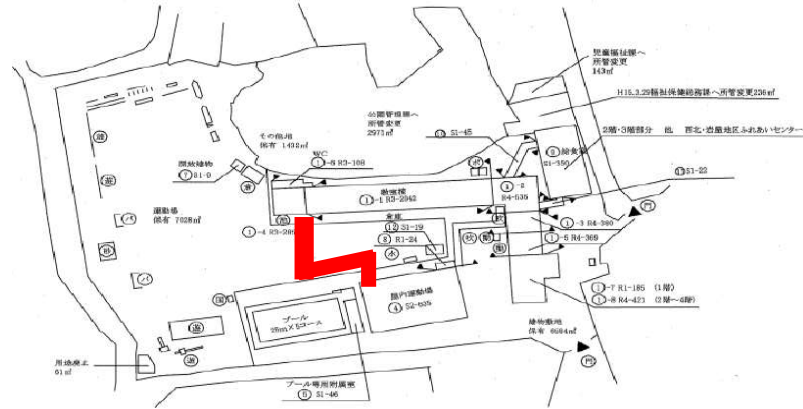
※青線は現状の暗渠
赤線は付け替え予定の暗渠

(2) 西北小学校エレベーター設置ほか工事(渡り廊下、擁壁設置)

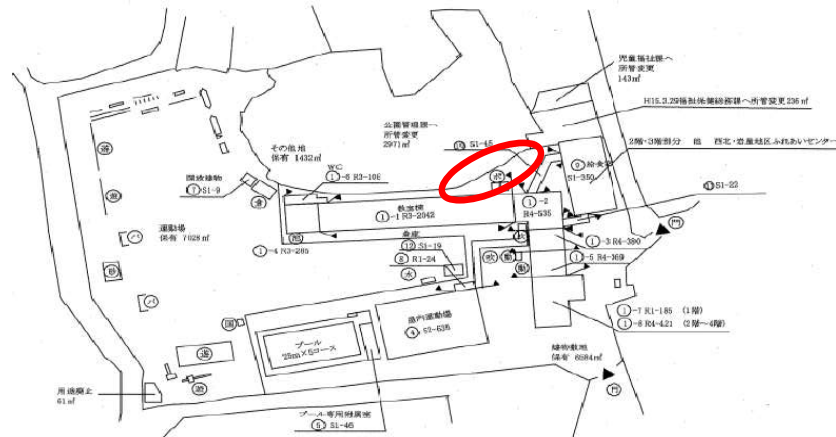
ア 建築年月:昭和39年3月(60年経過)

イ 工期:約7.5か月

渡り廊下設置場所(現状・平面図)



土砂災害特別警戒区域対策場所(現状・平面図)



4 補正予算内訳

(単位:千円)

事業内容	R6.2月補正予算 ①	設計後事業費 ②	不足額 ② - ①	主な増額理由
昇降機	20,000	23,133	3,133	・過去の昇降機設置工事に係る実績に物価上昇を見越して算出していたが、想定を上回る物価上昇となったため。
昇降路	46,000	83,667	37,667	<ul style="list-style-type: none"> ・構造計算の結果、地震対策のために要する既存校舎と昇降路との間のクリアランス(有効離れ)を大きくする必要が生じ、参考にした過去の実績よりも工事金額が上昇したため。 ・昇降路の基礎形状等の構造計算を行った結果及び建物支持地盤の状況を踏まえ、既存暗渠を付け替える必要が生じたこと、また、既存暗渠が地下構造物で詳細が不明なことから、測量を行う必要が生じたため。
暗渠付け替え	-			
渡り廊下・擁壁	47,000	58,800	11,800	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の渡り廊下等設置工事に係る実績に物価上昇を見越して算出していたが、想定を上回る物価上昇等により設計完了時に積算した金額と乖離が生じたため。 ・擁壁の設置について、詳細設計の結果、既存石積を一時撤去・復旧する必要が生じたこと、また、立地の特性上、仮設や資材搬出入に要する経費が増となったため。
合計	113,000	165,600	52,600	

5 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他	一般財源
補正前の額	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
補正額	千円 52,600	千円 -	千円 -	千円 39,800	千円 -	千円 12,800
補正後の額	千円 52,600	千円 -	千円 -	千円 39,800	千円 -	千円 12,800

※1 学校教育施設等整備事業債(充当率75%、交付税措置率-%)

自然災害防止事業債(充当率100%、交付税措置率28.5~57%)

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
26～27	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】小学校整備事業費 諸工事	千円 25,100

1 事業概要

桜町小学校において、境界確定時に地中に埋設されていた学校擁壁が、隣接する民有地に越境していることが判明した。現在、隣地においてはマンションの建設工事が進められているが、学校擁壁の一部がマンションの基礎工事の支障となっている状況である。

こうしたことから、現にマンションの基礎工事の支障となっている学校擁壁の一部について、本市の負担で撤去及びそれに伴う補強を行うもの。

なお、撤去等にあたっては、補正予算の議決に先行して既定予算から流用を行い、予算を執行している。

2 事業内容

撤去等にあたっては、学校擁壁とマンション建設地が近接しており、また、狭小な敷地であることから、一体的に施工することで現場の輻輳を避けるとともに、仮設や現場管理の効率化が図られること、マンションの工期の遅延を最小限とする必要があること、さらには工事費の削減につながることを思料し、相手方に施工させ、その工事費相当分について本市が負担金として支出するもの。

学校区分	学校名	事業費	事業内容
小学校	桜町小学校	25,100千円	工事費負担金
合計		25,100千円	

3 経緯

年月日	内容
令和6年3月5日	相手方から、隣地におけるマンション建設工事の内容及び擁壁の越境状況について説明を受ける。併せて、当該擁壁の撤去等について申し入れを受ける。
)	申し入れを受け、現地や現存する資料の確認、法律相談等を行う。
	法律相談の結果を踏まえ、本市の負担により擁壁の一部撤去を行うこととした。
	施工内容及び施工金額について土木部と協議。
令和6年4月30日	相手方と撤去等工事の概要及び工事費用等について定めた協定書を締結。
	撤去等工事施工中。(6月中旬完了予定)

4 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
補正前の額	千円 35,200	千円 —	千円 —	千円 29,500	千円 —	千円 5,700
補正額	千円 25,100	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 25,100
補正後の額	千円 60,300	千円 —	千円 —	千円 29,500	千円 —	千円 30,800

※1 学校教育施設等整備事業費(充当率75%、交付税措置率1%)
過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置率70%)

5 位置図・写真

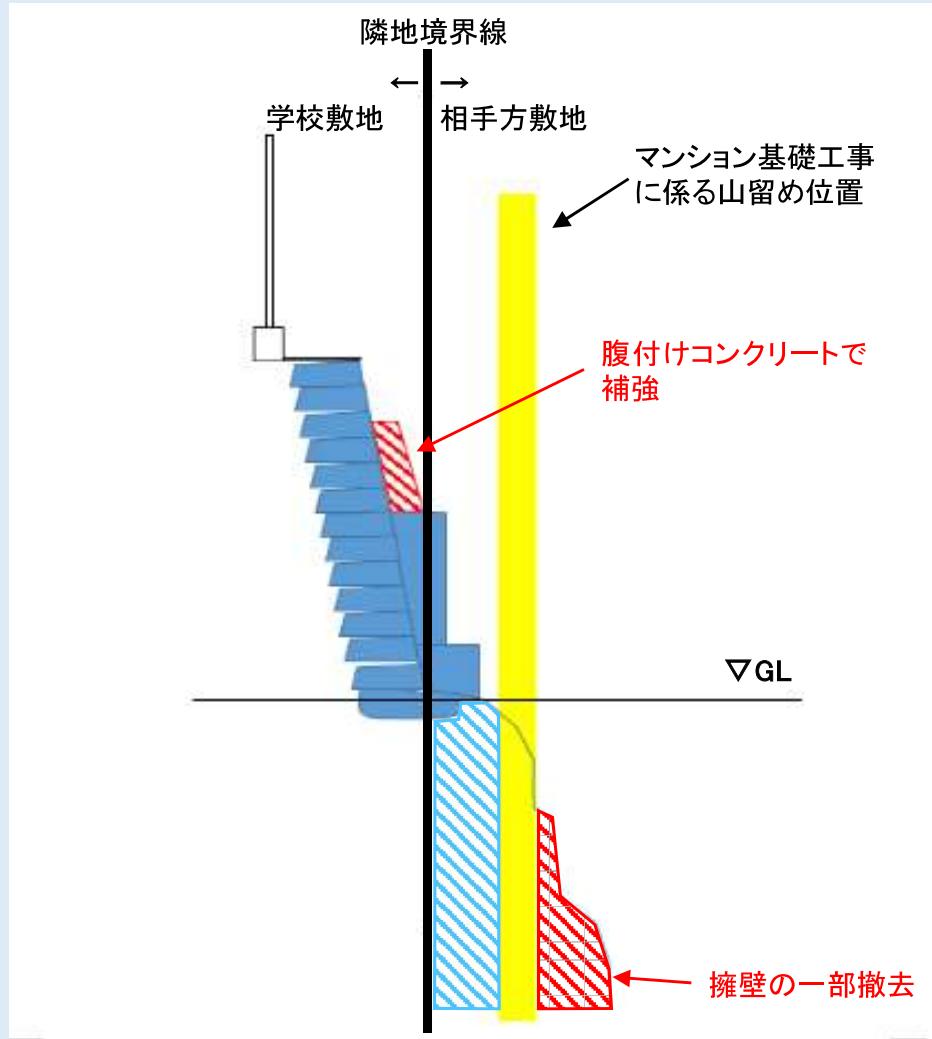


位置図



正面写真

6 イメージ図・写真

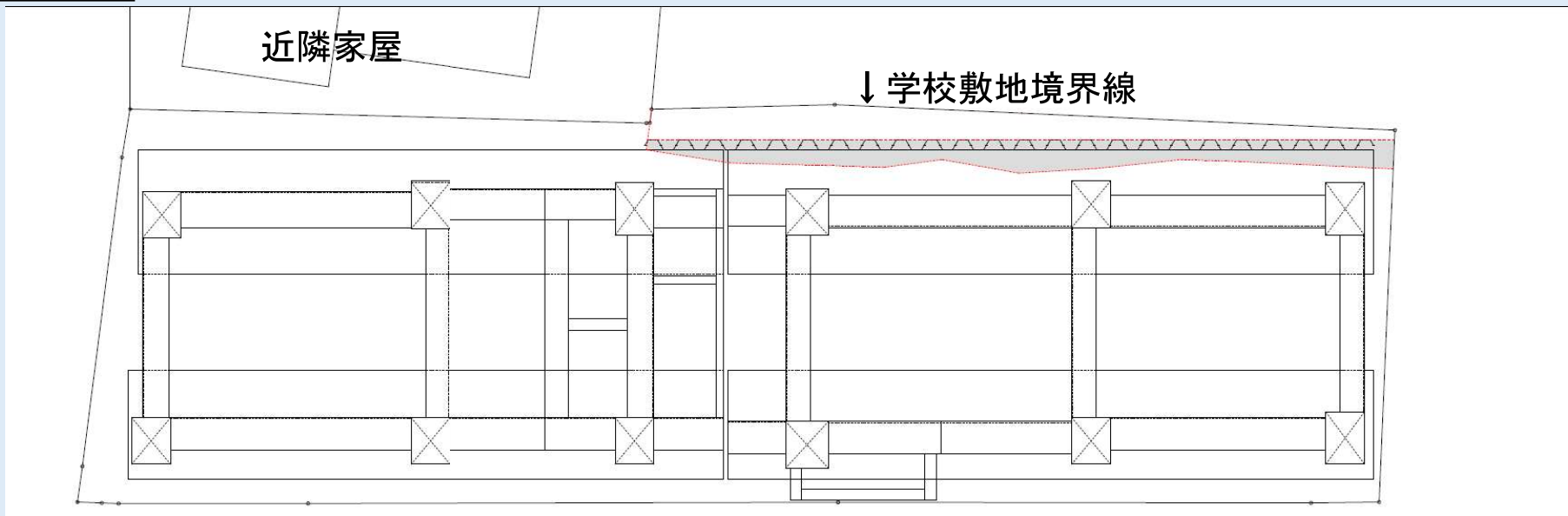


断面イメージ図

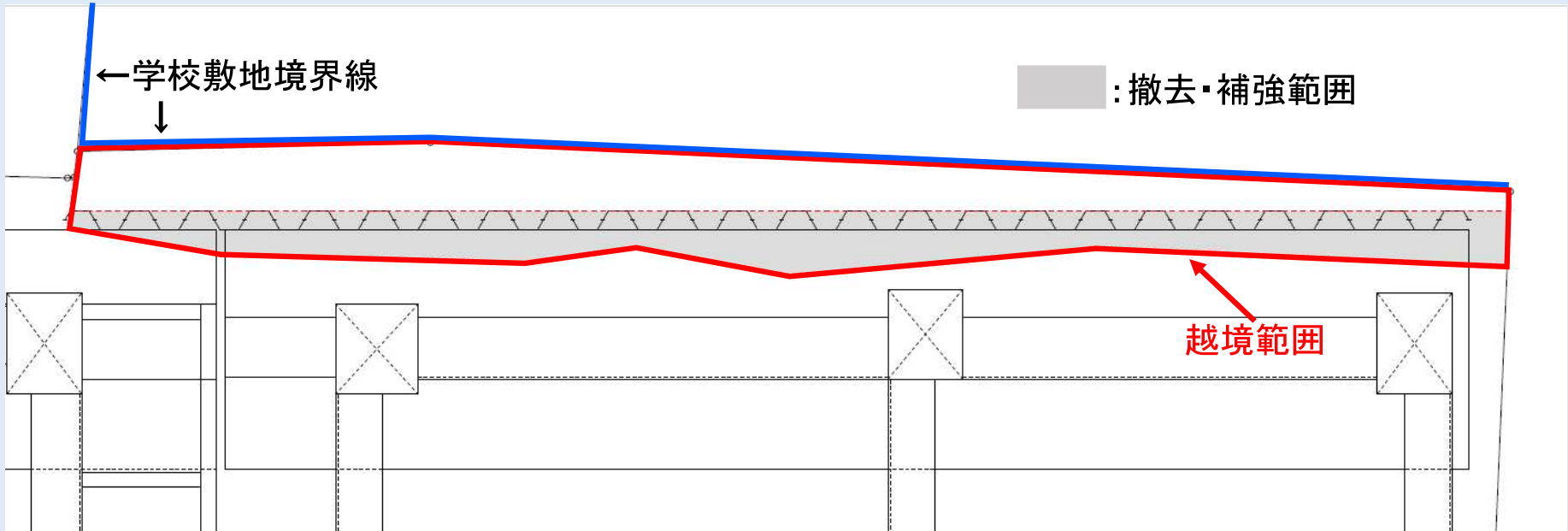


側面写真

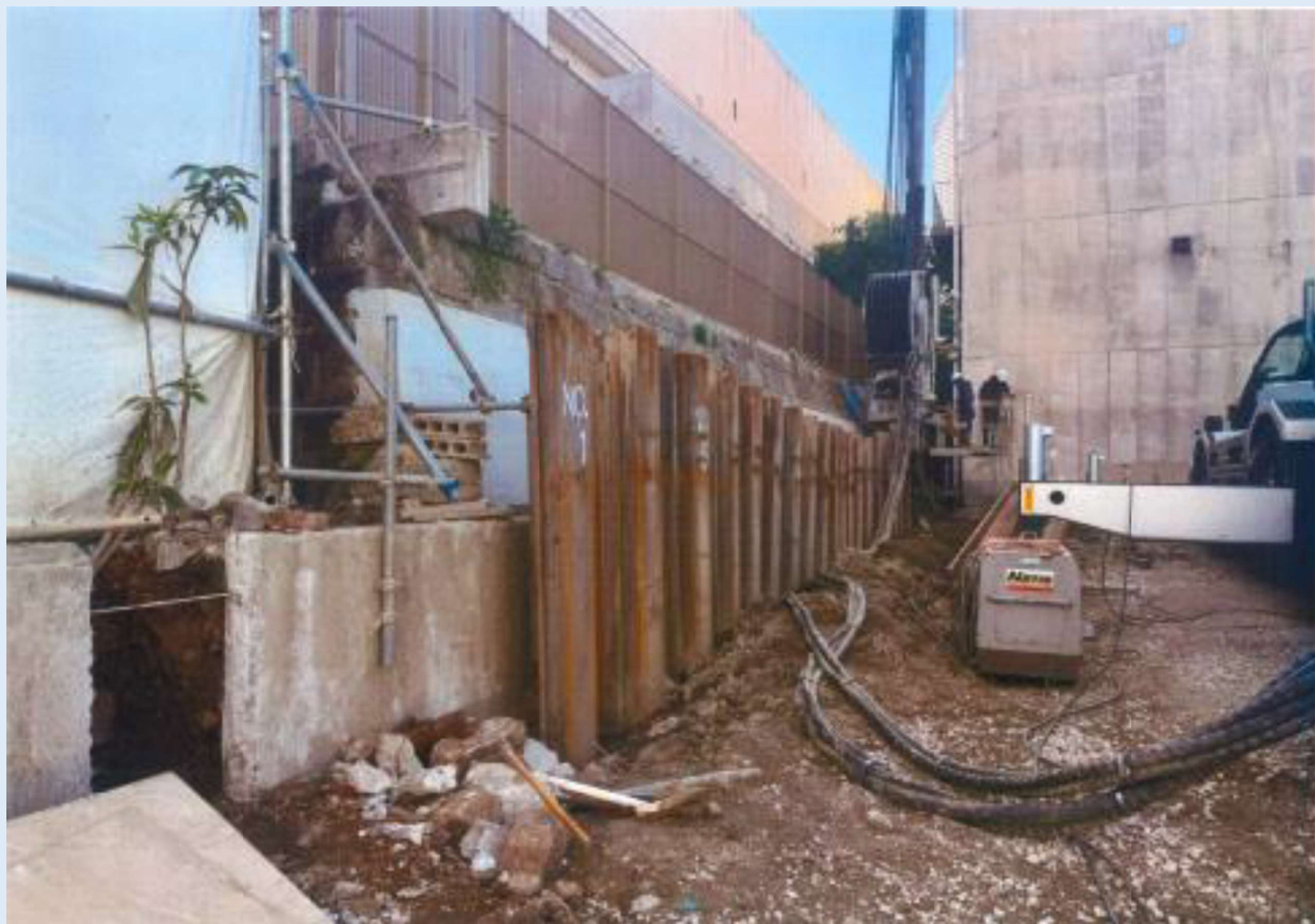
7 平面図



施工場所



施工場所(拡大)



現状写真

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
26~27	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】中学校整備事業費 学びの多様化学校開設	千円 6,600

1 事業概要

不登校児童生徒の学びの機会を保障し、社会性の育成を図るため、特別な教育課程を編成した「学びの多様化学校」の設置場所について、本校を長崎市立桜馬場中学校とし、分教室を長崎市民会館2階に設置するもの。

2 事業内容

現状の長崎市民会館2階の研修室を学校として使用するための建具・内装改修、生徒の安全安心の確保のためのセキュリティ対策、学校への用途変更にあたり必要となる建築基準法等関係法令に適合するための改修工事にかかる実施設計を行うもの。

学校区分	学校名	事業費	事業内容
中学校	桜馬場中学校 (分教室)	6,600千円	実施設計業務委託
合計		6,600千円	

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
補正前の額	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
補正額	千円 6,600	千円 —	千円 —	千円 3,300	千円 —	千円 3,300
補正後の額	千円 6,600	千円 —	千円 —	千円 3,300	千円 —	千円 3,300

※1 国庫支出金については、令和7年度の工事完了後、交付がある予定

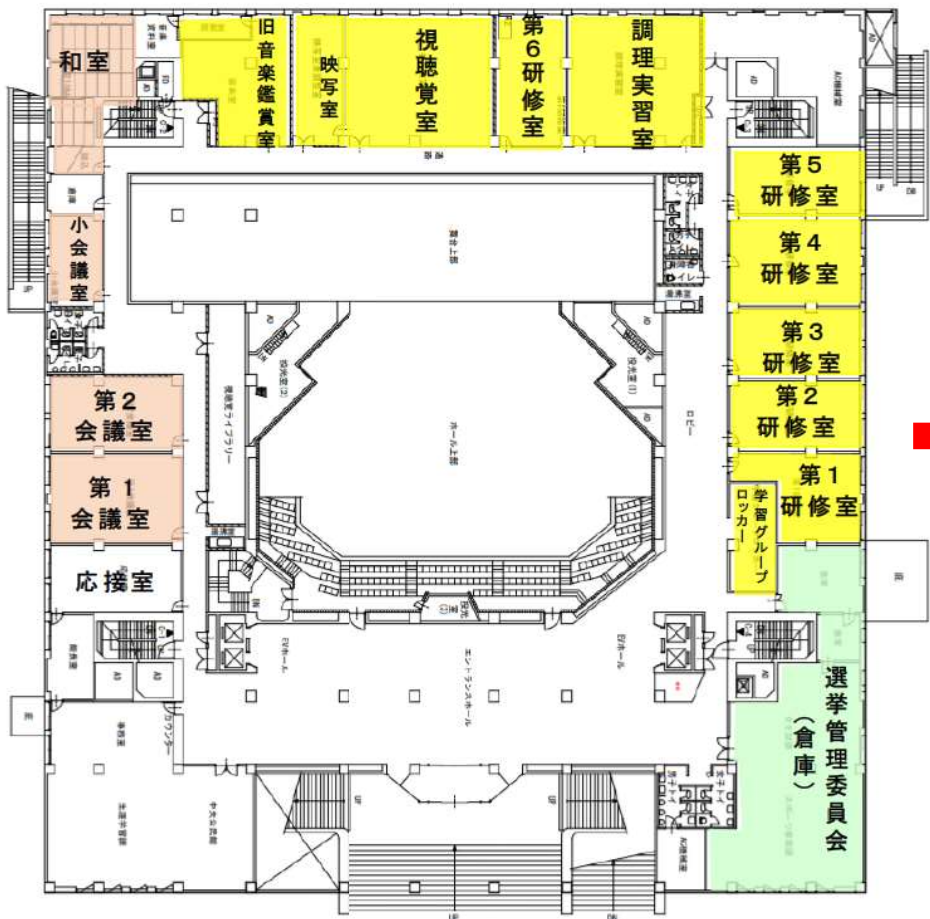
※2 学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率30%）

4 スケジュール

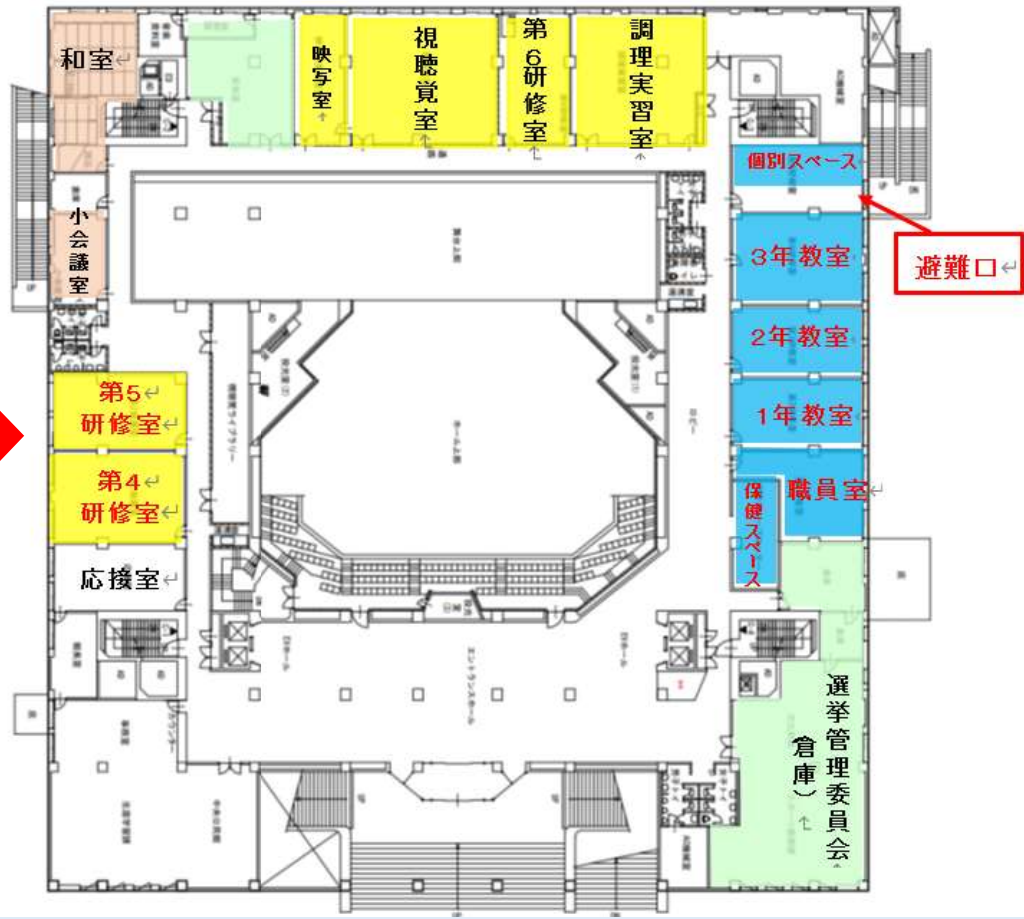
年度	令和6年度											令和7年度											
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
契約・入札																							
実施設計 業務委託																							
改修工事																							

5 2階配置計画案

現在



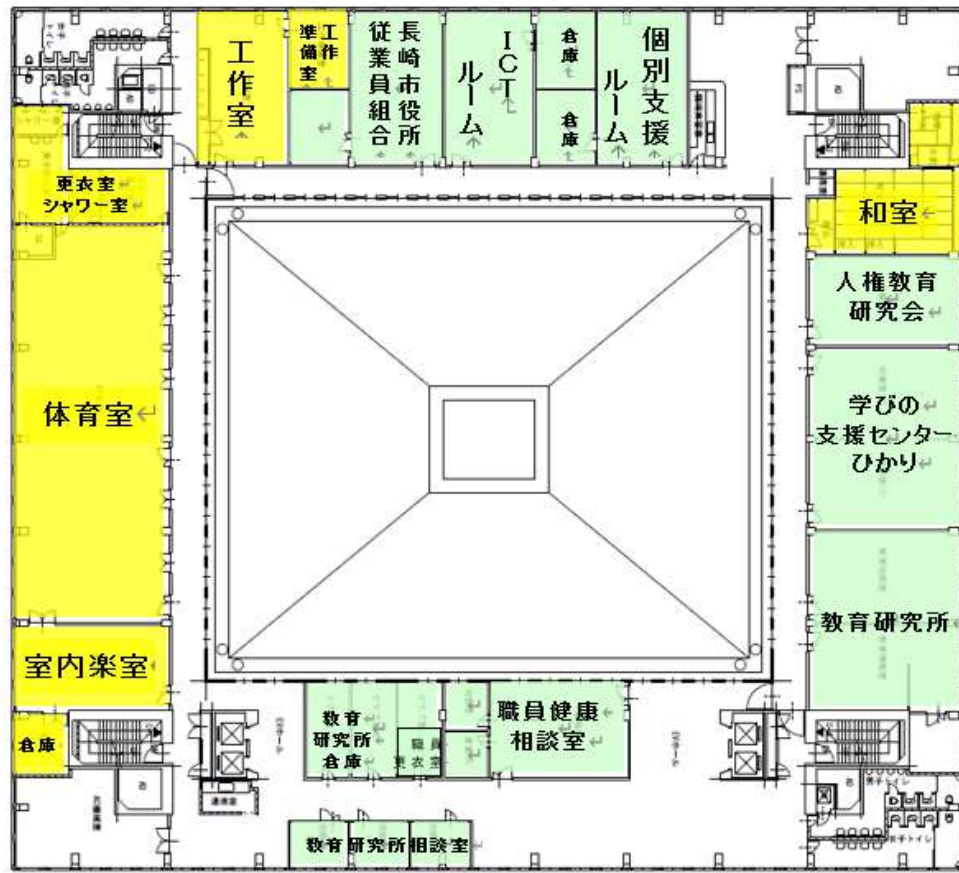
配置計画案



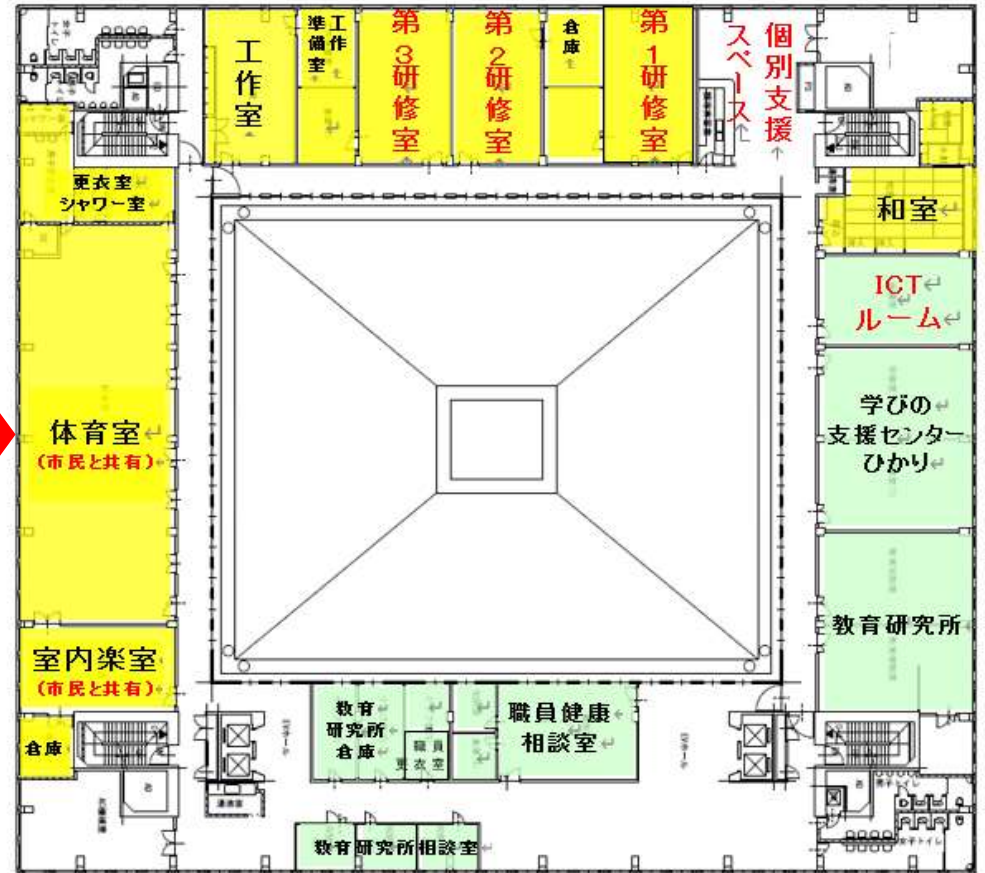
- 【凡例】
- 中央公民館
 - 文化ホール
 - 市庁舎等部分
 - 学びの多様化学校

6 (参考)7階配置計画案

現在



配置計画案



【凡例】

- 中央公民館
- 文化ホール
- 市庁舎等部分
- 学びの多様化学校

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
26~27	10 教育費	4 高等学校費	2 学校管理費	1-1	教育ICT推進費	9,974 <small>千円</small>

1 事業概要

長崎商業高等学校では情報産業を通じ、地域産業をはじめ情報社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成を通じ、情報の各分野に関わる将来のスペシャリストの育成を図るため、令和5年度に新たに情報科を開設した。

このたび、国の「高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金」を活用し、情報教育を重視するカリキュラムを実施するために必要な環境を整備し、長崎市の未来を担う人材を育成する。

2 事業内容

(1)事業費

9,974千円(講師謝礼金 160千円、役務費 94千円、使用料及び賃借料 198千円、
備品購入費 9,522千円)

・備品購入費 内訳

高性能ノートパソコン 206,100円×42台×1.1 = 9,521,820円

2 事業内容(続き)

(2) 実施内容

- ア 高性能パソコンを活用した、プログラミング実習や動画編集、静止画編集、デザイン制作等の情報実習や作品制作
- イ 校内外における情報実習や作品制作の授業を行い、習得した情報技術を活用した課題の探究
- ウ 地域社会の課題や専門性を理解するために、大学や民間等の外部講師を活用した授業をおこない、学校での学びと地域社会の課題に繋がりを見つけ、その課題解決に向けた探究

3 財源内訳

	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
補正前の額	千円 23,702	千円 129	千円 -	千円 -	千円 23,573	千円 -
補正額	千円 9,974	千円 9,974	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
補正後の額	千円 33,676	千円 10,103	千円 -	千円 -	千円 23,573	千円 -

※1 公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金（補助率 対象事業費の1/3）

※1 高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金（補助率 10/10）

※2 長崎商業高等学校授業料、教育基金繰入金